

概観

【内政・社会】

- ・13日、国民議会における緊急事態宣言の採択（期限：4月13日）。
- ・26日、国民議会の原則審議停止。

【外 政】

- ・2日、ボリソフ首相、エルドアン・トルコ大統領との会談。
- ・18日、ボリソフ首相、李克強首相との電話会談。

【経 済】

- ・ロシアとの天然ガス価格交渉が終了し、価格削減決定。
- ・9日、ブルガリア・米戦略対話の下でのエネルギー協議。
- ・24日、政府は、新型コロナウイルスによる経済危機に対する経済・金融政策を発表。

この月報はブルガリア各種メディアの報道等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

新型コロナウイルス対策

1. 内政

◆初の新型コロナウイルス感染者発生による緊急閣僚評議会の招集

- ・8日、ブルガリア政府は、ブルガリア国内における初の感染者発生を受け、緊急閣僚評議会を招集した。
- ・政府は、不要なパニックに陥らないよう、国民一人一人の冷静な自己規律、並びに、全国的に人が集まるような文化イベント等の中止を要請した。
- ・トルコから、5万枚のマスク及び10万着の医療用防護服が提供。

◆国内初の新型コロナウイルス死亡者確認

- ・11日、ブルガリア保健省は、66歳女性の新型コロナウイルス感染者が同日死亡した旨発表した。同人は深刻な肺炎の症状により搬送され、蘇生措置が施されたものの、医師たちは彼女の命を救うことが出来なかった。同人には心臓系疾患の持病があった。

◆国民議会における緊急事態宣言採択

- ・13日、国民議会は、ボリソフ首相が提案した今後1ヶ月（3月13日～4月13日）の緊急事態宣言を賛成201、反対0で可決した。緊急事態措置には、教育機関、幼稚園、ナイトクラブ、スポーツイベント等を含む施設の閉鎖、国境・渡航制限、隔離措置違反に対する罰金導入などが含まれる。
- ・国民議会において、ムスタチスキ対策センター長は、状況は深刻化しているとしつつ、国民による隔離措置が適切に遵守されていない点を指摘した。同センター長によれば、ソフィアのピロゴフ救急病院に搬送された夫婦は、隔離措置を遵守しなかったイタリアからの帰国者が参加する集まりに参加していたことが判明しており、最近確認された11名の新たな感染者は全て、同夫婦との接触者であった由。
- ・ボリソフ首相は、医療関係者に対する財政面での支援の必要性を述べ、この危機が深刻

化すれば30億レヴァ（約15億ユーロ）の経済的損失が出るであろう等と述べた。

◆日本製のインフルエンザ治療薬「アビガン」

・19日付当地TRUD紙は、「日本による救済」と題し、中国の科学技術省によれば、日本企業が開発したインフルエンザ治療薬の「アビガン」に新型コロナウイルスによる肺炎の症状を改善させる効果が認められた、武漢での臨床試験にて、患者治療に効果がみられ、同治療薬の服用後4日で回復したと報じた。

・ムタフチスキ新型コロナ対策センター長は、もし薬の効果が証明されれば、同ウイルスに感染した人の治療のために「アビガン」を購入すると述べた。なお、同センター長は、その他の病気の治療のための薬品が新型コロナウイルスに効くと推奨されてはいるものの、その効果が証明されない限りブルガリアは購入しないと附言した。

◆緊急事態宣言に伴う感染拡大対策の有効期限の延長等

・26日、ブルガリア保健省は、13日付国家緊急事態宣言に伴う下記感染拡大対策の有効期限を4月12日まで延長することを決定した。同延長には、(1)大規模行事中止、学校休校等、(2)2人以上の高齢者の集会の制限、(3)雇用者に対する2名以上の高齢者が集まらない環境維持の指示、(4)ファーストフード店やガソリンスタンドでの飲食の禁止が含まれる。

◆国民議会の審議停止

・26日、国民議会は、緊急事態宣言を踏まえ、今後、緊急事態措置法に基づく招集以外の全ての作業を停止する旨可決した。(賛成115、反対65票(社会党(BSP))、棄権0)。

・与党GERBは、議場におけるセキュリティ対策の限界を理由に賛成票を投票した。一

方、野党BSPは、この対応を厳しく批判し反対票を投じた。ニノヴァBSP党首は、同決定は歴史的瞬間であり、議会制・共和制の一時停止と同時に、憲法も停止したと述べた。

・イタリア国内の感染が多く確認されている各地域には計約15,000人のブルガリア人が在留している。

2. 外交

◆ボリソフ首相の李克強中国首相との電話会談

・18日、ボリソフ首相が、李克強中国首相と電話会談を行い、新型コロナウイルスの感染防止のための取組みについて協議した。ボリソフ首相は、中国の同ウイルスに対する効果的な封じ込め措置を賞賛した。

・李克強首相は、マスクやゴーグル、手袋、その他の防護に係る物資をブルガリアに寄付する意向を表明し、同時に、中国は欧州委員会のプログラムを通じても同様の支援を行うことを表明した。また、李首相は、関係省庁を通じて、ブルガリアが人工呼吸器及び防護に係る物資を購入できるように、中国の関連工場に連絡すると述べた。

・ボリソフ首相は、中国政府の寄付イニシアティブ及び中国から過去に提供された12000枚の使い捨てマスクと2000枚の高性能マスクに対し感謝の意を表明した。

・また、ボリソフ首相は、2月初旬に仏の航空便によりブルガリア人2名を武漢から避難させた際の中国当局による支援及び武漢に滞在しているブルガリア人大学生への配慮に感謝の意を表明した。李首相は、当局がブルガリア国民及び学生を支援するとし、右に対し、ボリソフ首相は、自国の領土に滞在している他国の市民の支援を両国は行うべきと応答した。

◆ブルガリア市民に対するハンガリーの一時的国境開放措置

・18日、ボリスフ首相は、オルバン・ハンガリー大統領と、ハンガリー国内に取り残されているブルガリア市民及び新型コロナウイルス情勢に関し、電話会談を行った。

・両者は、ブルガリアに帰国するため、ハンガリーにて待機中のブルガリア市民に関し協議し、オルバン大統領は、安全対策及び法執行機関関係者を派遣し、同日遅くに同国で待機中のブルガリア市民のため、陸路を確保するための支援を保証した。

・また、同電話会談にて、ボリスフ首相とオルバン大統領は、新型コロナウイルス情勢に関しても協議した。ボリスフ首相は、国民議会が宣言した緊急事態及び政府が対策本部と連携し講じた措置に関し説明し、また、現時点にて世界で最も必要とされる防護服の生産のため、政府による産業の動員及び迅速な対応につき強調した。また、同首相は、ブルガリア国内での需要が満たされ、十分な量の防護服が整い次第、援助を必要とする他国に支援する準備があると述べた。

・なお、同会談後、ザハリエヴァ副首相兼外相は、シーヤールト・ハンガリー外相と電話会談を行い、ブルガリア国民に対し、数時間以内に国境が開かれる旨の保証を得た。

外交

1. 難民

◆トルコによる国境開放及び欧州への難民流入の懸念に対するブルガリア政府の対応

・2月28日、シリア北西部のイドリブ県における紛争に端を発したトルコによる国境開放及び難民流入の可能性を踏まえ、ボリスフ首相及びカラカチャノフ国防大臣は、軍及び憲兵に対し国境の警備強化及び同準備を命じた。また、同首相は、同日のエルドアン・トルコ大統領との電話会談後、数百人の難民が、トルコ北西部を経由してブルガリア及びギリシャとの国境に向かっているとしつつも、現時点ではブルガリアにとり直接的な脅威はな

いと指摘し、対トルコ支援の必要性について説明した。

・3月2日、ボリスフ首相は、アンカラにおいてエルドアン大統領と会談し、トルコからの難民流入及びシリア情勢に関し協議し、トルコがブルガリアとの国境に関してEUとの合意を順守していることに謝意を表した。

・エルドアン大統領は、EUとの合意を順守し、トルコは400万人以上の難民に係る負担を担っているが、この負担をEUが分担してくれるとの期待は叶えられていないとしつつ、EUは「トルコに60億ユーロを負担すると約束したが、この約束は守られていない。今、彼らは、我々に10億ユーロを送ると約束しようとしている」と批判し、また、負担分担に係るEUの協力がなければ、国境を開放すると警告した。

◆ボリスフ首相の欧州委員会委員長・欧州理事会議長との会談

・3日、フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長及びミシェル欧州理事会議長は、トルコによる国境開放及び難民流入問題のためギリシャを訪問後、ヘリコプターでブルガリア南部の国境に飛び、ボリスフ首相の案内でペトコ・ヴォイヴォダ検問所の国境設備を視察した。その後、三者は、ソフィアに移動し、同問題に対処するためのEUの支援方法、移民圧力の現状、2日のブルガリア・トルコ首脳会談、及びシリア情勢に関し協議した。

・ボリスフ首相は、国境において記者団に対し、地域紛争は、投資減少や低成長、観光減少を招くこととなり、賢い政策が追求されなければ、現在のギリシャ・トルコ国境のようになると述べた。

・フォン・デア・ライエン委員長は、難民及びトルコについて集中的に協議をしたと説明し、ボリスフ首相がこの地域において長年に亘り善隣関係を維持してきた幅広い経験は、極めて興味深く、価値があったと述べた。

・ミシェル議長は、ボリソフ首相の素晴らしい協力に謝意を表すると共に、EUにとって極めて重要である国境警備に対するブルガリアのコミットを評価した。

◆ギリシャによる国境付近における難民収容施設建設計画

・9日、カラカチャノフ副首相兼国防大臣は、ギリシャによるブルガリアとの国境付近での難民収容施設の建設計画に関し、同施設の建設が、ブルガリア・ギリシャの二国間関係に負担を強いることになると懸念を示し、ギリ

経済

1. マクロ経済

◆ GDP成長率, ユーロスタット発表値(第4四半期)

・ユーロスタットは、2019年の第4四半期におけるブルガリアのGDP成長率に関し、同年前期比で0.8%増、前年同期比で3.1%増である旨発表した。

・第4四半期において、前年同期比で高い成長率をみせた国は、アイルランド(6.3%)、ハンガリー(4.6%)、マルタ(4.3%)、ルーマニア4.2%、エストニア(4.0%)であった。

2. 経済政策, 産業

エネルギー関連

◆ロシアとの天然ガス供給価格交渉：天然ガス価格の削減確定

・3日、閣僚会議の記者会見にて、パヴロフ・ブルガルガス代表取締役は、ブルガルガス・ガスプロム間の天然ガス供給に係る価格を、40.3%削減するための合意が確定したとし、同合意が、2019年8月5日まで遡及適用されると説明した。

・パヴロフ代表取締役は、エネルギー・水規制委員会に対し、4月現在の44.04レヴァ/MWhから26.29レヴァ/MWhへの価格変

更の承認を求め、2019年8月5日から2020年2月29日までの期間のVATを含む1億5000万レヴァを顧客に還元すると説明した。

・また、カラカチャノフ大臣は、ブルガリア軍は常に対応の準備が整っており、新しい移民の波を許さないと述べつつ、エルドアン・トルコ大統領による欧州に対する挑発と、バルカン半島において人々を地政学的チェス盤の駒のように利用することは全く別の話であるとして、同行為を非人道的だと指摘した。

更の承認を求め、2019年8月5日から2020年2月29日までの期間のVATを含む1億5000万レヴァを顧客に還元すると説明した。

・同取締役によれば、新しい価格設定は3月1日から実施される。市場独占を巡る調査に係る欧州委員会・ガスプロム間の和解を受け、ブルガリアは、ガスプロムとの価格交渉に臨んだ、EUに加盟する東欧8カ国中最後の国となった。

・ボリソフ首相は、欧州委員会の支援の下で、専門的に交渉を行ったとしつつ、ロシアと価格条件を再交渉した全ての国の中で、ブルガリアが最も削減額が大きかったと述べた。同首相は、エネルギーの多様化及び市場競争は、天然ガス価格の削減の効果があると述べた。

・ペトコヴァ・エネルギー大臣は、前例のない価格削減により、ブルガリア経済はかつてないほど競争力を向上させ、ブルガリアのガス利用者は市場価格から恩恵を受けると指摘した。

◆ブルガリア・米戦略対話の下でのエネルギー協議

・9日、ブルガリア・米戦略対話の下で、ペトコヴァ・エネルギー大臣は、米国エネルギー省及び国務省高官他と、主にブルガリアの

石炭火力発電所の容量維持について協議した。同会談には、フルクマン米エネルギー省クリーンコール・炭素管理担当次官補、アダムズ米国務省国際安全保障・核不拡散局原子力問題上級顧問及びムスタファ駐ブルガリア米国大使他が出席した。

- ・ペトコヴァ大臣は、ブルガリアにおける石炭火力発電は、国内の発電の46%を占めると指摘し、近年、ブルガリアは、二酸化炭素排出権購入による多大な費用を負担しており、右負担は、発電価格に転嫁されていると述べ、さらに、国営石炭火力発電所のマリツァ・イーストIIは、公害防止設備に12億レヴァ（約6億ユーロ）以上を投資したと説明した。
- ・米国の専門家は、石炭エネルギーシステム及び二酸化炭素回収・貯蓄技術に関する研究開発の情報を提供し、ブルガリアにおける火力発電所の稼働維持に向けた協力につき合意した。

◆アレクサンドロポリス・LNGターミナルからのガス調達

- ・10日、政府は、今後10年間アレクサンドロポリス・LNGガスターミナルからガス輸送5億立法メートル分を調達することを決定した。・ブルガルトランスガスは、同LNGターミナルを開発しているガストレード社の株主として参加する。

3. その他

◆看護師によるデモ：給与に関する対応

- ・9日、賃金上昇を含むより適切な勤務環境を求める看護師によるデモ継続を受け、サチェヴァ労働・社会政策大臣は、ブルガリア独立労働組合（CITUB）及び労働組合「ポッドクレパ」代表等と会談し、会談後の記者会見において、教育機関や幼稚園に勤務する11,000人の医療専門家に対する月額最低賃金を900レヴァ（約450ユーロ）（現在は610-700レヴァとされる）とし、

看護師の夜間勤務手当を現在の0.25レヴァ/時間から0.97レヴァ/時間へと増額することを発表した。

- ・また、教育機関における看護師給与増額のため、約900万レヴァ（約450万ユーロ）の追加予算を準備する。

◆新型コロナウイルスによる経済危機に対する経済・金融政策の発表

- ・24日、ボリソフ首相は、新型コロナウイルスによる経済危機に対処するため、今後政府が打ち出す経済・金融政策のパッケージを発表した。
- ・政府は、ビジネス及び労働者支援のため、政府は総額45億レヴァ（約22.5億ユーロ）を拠出する。また、新型コロナウイルス対策のため、保健省、国防省及び内務省に対し、総額5億レヴァの追加予算を拠出する。
- ・ブルガリア開発銀行は、25億レヴァ（約12.5億ユーロ）の企業融資を可能とするため5億レヴァ（約2.5億ユーロ）を銀行保証に当てる。また、無給休暇状態にある労働者支援のための無利子融資実現のため、約2億レヴァ（約1億ユーロ）が政府により拠出される。
- ・政府は、企業が雇用者を維持するための支援として、被雇用者の賃金の60%を負担する（予算は10億レヴァ（約5億ユーロ））。企業は残り40%を負担する。
- ・法人税納入期限は6月30日まで延期される。同措置により約6億レヴァ（約3億ユーロ）の費用が発生する見込み。
- ・年金率の低い年金生活者救済のため、復活祭ボーナスとして5000万レヴァ（約2500万ユーロ）が拠出される。

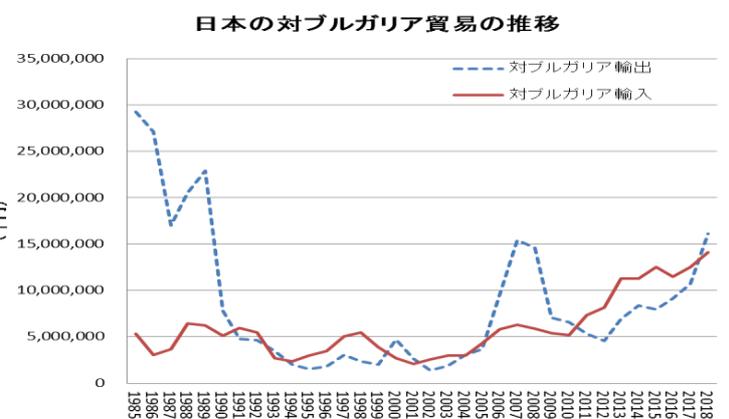
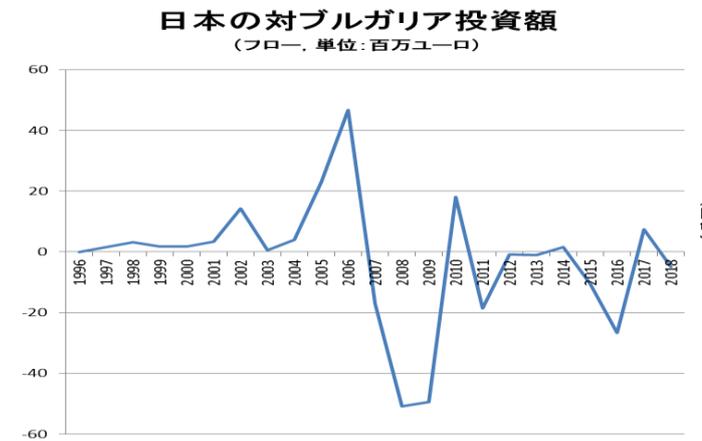
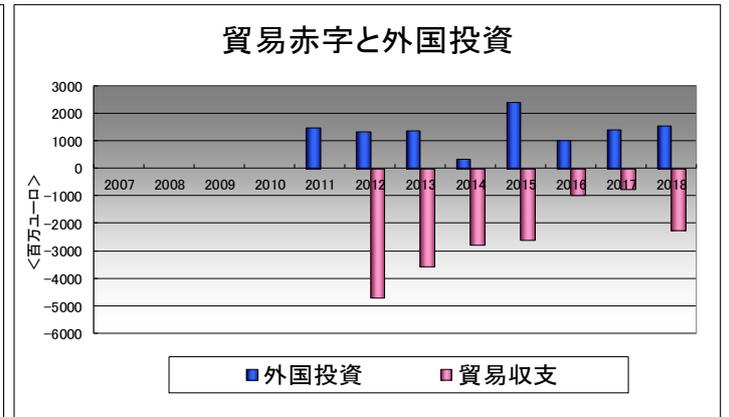
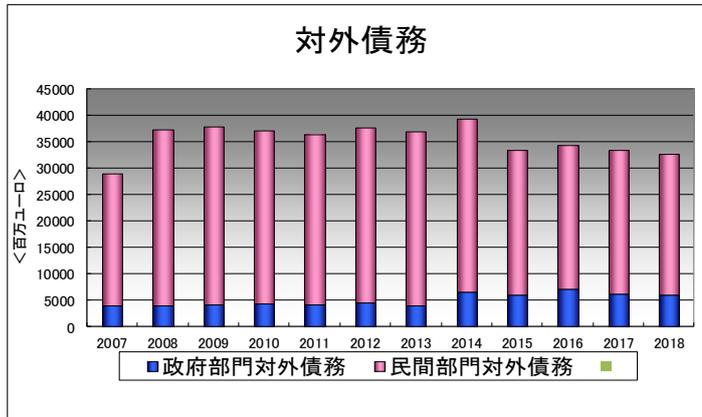
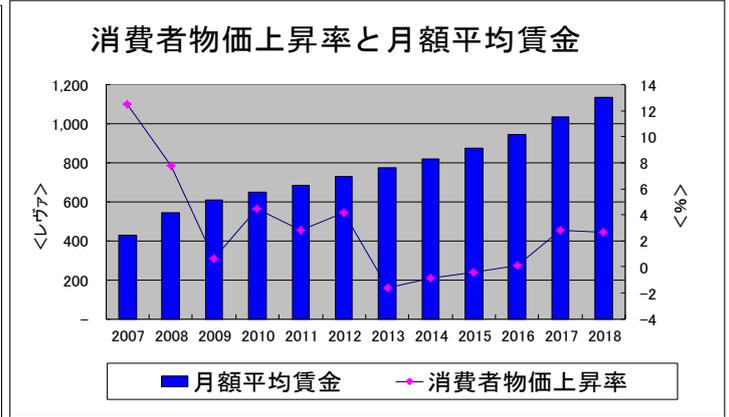
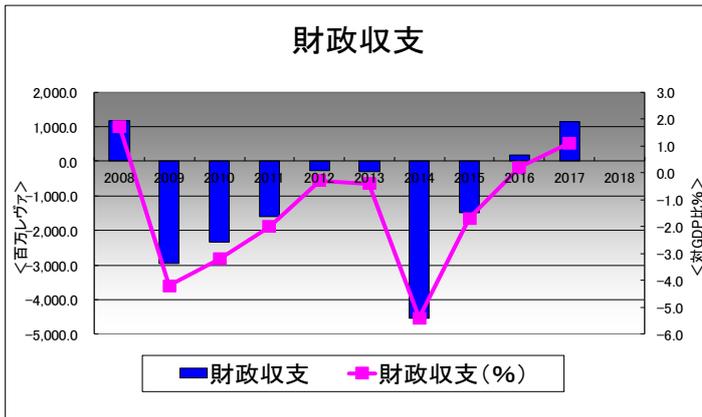
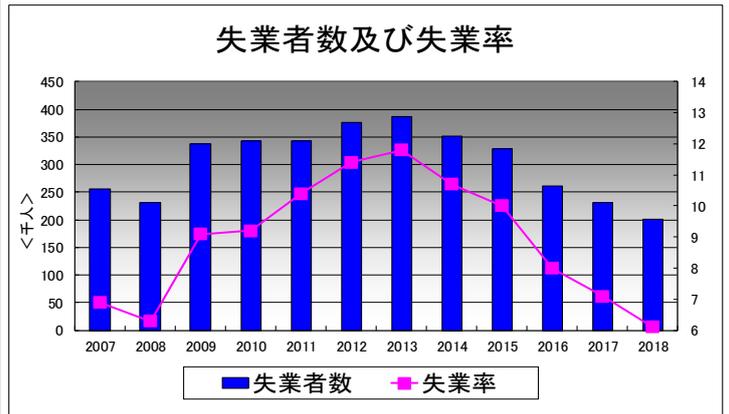
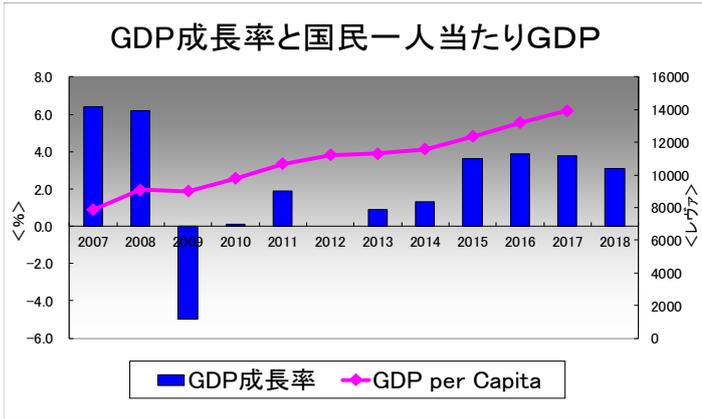
ブルガリア内政・外交の動き(3月)

在ブルガリア大使館

1(日)	
2(月)	
3(火)	☆ボリスフ首相のトルコ訪問：エルドアン大統領との会談 ☆ザハリエヴァ外相のドイツ訪問：マース外相他との会談 ★フォン・デア・ライアン欧州委員会委員長及びミシェル欧州理事会議長
4(水)	
5(木)	
6(金)	☆ザハリエヴァ外相のクロアチア訪問：EU 外相理事会の出席
7(土)	
8(日)	
9(月)	★米国務省及びエネルギー省高官他のブルガリア訪問：戦略対話枠組み内のエネルギー協議
10(火)	☆ザハリエヴァ外相の北マケドニア訪問：ベルリンプロセス外相会議の出席
11(水)	
12(木)	ボリスフ首相のプーチン・ロシア大統領との電話会談
13(金)	国民議会の緊急事態宣言の採択
14(土)	
15(日)	
16(月)	
17(火)	
18(水)	ボリスフ首相の李克強中国首相との電話会談 ボリスフ首相のオルバン・ハンガリー大統領との電話会談
19(木)	
20(金)	
21(土)	
22(日)	
23(月)	
24(火)	
25(水)	
26(木)	緊急事態宣言に伴う感染拡大対策の有効期限の延長 国民議会の審議停止
27(金)	
28(土)	
29(日)	
30(月)	
31(火)	

★来訪 ☆往訪

ブルガリア経済指標の推移 (出典：国家統計局，中央銀行，財務省（日本）貿易統計)



ブルガリア主要経済指標 (出典: 中央銀行)

< GDP成長率と国民一人当たりGDP >

		2016	2017	2018	2019	2019 Q2	Q3	Q4	2020 Q1
GDP成長率	(%)	3.8	3.5	3.1	3.4	3.6	2.9	2.9	
GDP per Capita	(BGN)	13,341	14,459	15,615	17,012	n/a	n/a	n/a	n/a

< 財政収支 >

		2016	2017	2018	2019	2019 Q2	Q3	Q4	2020 Q1
財政収支	(million BGN)	85.2	1,120.3	1,921.1		1,534.7	576.8		
財政収支GDP比	(% of GDP)	0.1	1.1	1.8		1.3	0.5		
一般政府総債務	(% of GDP)	29.3	25.3	22.3		19.8	20.2		

< 失業者数及び失業率 >

		2016	2017	2018	2019	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar
失業者数	(千人)	261	232	201	195	175	170	173	173	173	183	189	195	205	203	220
失業率	(%)	8.0	7.1	6.1	5.9	5.3	5.2	5.3	5.3	5.3	5.6	5.8	5.9	6.3	6.2	6.7

< 消費者物価上昇率と月額平均賃金 >

		2016	2017	2018	2019	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar
消費者物価上昇率	(%) (前期比)	0.1	2.8	2.7	3.8	0.1	-0.6	0.8	0.1	-0.3	0.8	0.5	0.7	0.9	0.1	-0.6
月額平均賃金	(BGN)	948	1,037	1,146	1,274	1,246	1,253	1,257	1,224	1,266	1,296	1,294	1,349.0			

< 対外債務 >

		26842.6														
		2016	2017	2018	2019	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar
政府部門対外債務	(million EURO)	7,234.0	6,343.6	6,122.8	6,181.7	5,948.4	5,967.2	5,985.7	5,968.8	5,974.6	6,179.0	6,227.9	6,181.7	6,188.5		
民間部門対外債務	(million EURO)	27,421.3	27,867.7	27,679.2	27,889.7	28,356.7	28,224.6	28,371.4	28,259.9	28,252.8	28,303.6	28,073.2	27,889.7	27,608.4		

< 対内直接投資と貿易収支 >

		2016	2017	2018	2019	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar
対内直接投資	(million EURO)	927.2	1,618.9	1,027.9	1,092.4	306.2	391.3	773.1	857.0	931.3	1,032.1	1,149.2	1,092.4	12.8	37.1	
貿易収支 (FOB-CIF)	(million EURO)	-984.4	-765.8	-1,858.0	-1,685.7	-843.4	-948.1	-1,095.5	-1,099.6	-1,199.1	-1,277.6	-1,300.6	-1,685.7	-77.9	-146.5	
輸出 (FOB)	(million EURO)	23,103.6	26,950.0	27,744.2	29,093.7	11,764.8	14,085.0	16,755.6	19,173.3	21,626.8	24,385.3	27,035.2	29,093.7	24,199.8	48,644.8	
輸入 (CIF)	(million EURO)	24,088.0	27,715.9	29,602.2	30,779.4	12,608.2	15,033.1	17,851.1	20,272.9	22,826.0	25,662.9	28,335.8	30,779.4	24,977.8	50,111.3	